



枚方市病児保育室

だより

R4年度 冬号



1月2月は、うっすらと雪がつもるほど寒い日があれば、春のような温かい日もあるなど、気温の変化が大きかったです。特に2月にかけては、インフルエンザ A 型が流行り、問い合わせや、申し込みも多くなってきました。

インフルエンザは、登園停止期間が長いので、お仕事の都合をつけるのが大変だと思います。急性期(症状が急激に現れる時期、病気になり始めの時期)の利用の際は、必ずインフルエンザの薬を服用してからの入室をお願いしています。急性期、回復期と様子はそれぞれで、熱や吐き気の症状のある子は、入室後すぐに布団に横になることもあります。回復期になると体調も復活し、動きも出てきますが、できるだけゆっくりと休める環境を作るようにしています。また、熱が高い時には、保冷まくらなども活用し、水分もこまめにとるようにしています。

元気になり、翌日から登園ができるようになった子は、通っている園での行事や、友達と遊ぶことを楽しみに退室しています。

インフルエンザと並行して感染性胃腸炎や普通風邪での利用もあります。

どれだけ予防していても、体調を崩してしまうのが子どもです。急な子どもの発熱、体調不良時、お仕事が休めない時は、まずは病児保育室に電話して、部屋の空き状況を確認してください。

市立ひらかた病院内 Tel(072-847-7130)
利用時間8:00~18:00 (土)8:00~13:00

**心配な
インフルエンザ脳症**

インフルエンザの合併症で特に気をつけたいのがインフルエンザ脳症。特に0、1、2歳児は発症しやすく、後遺症が残ったり、重症化すると命を落としたりすることもあります。万が一のような症状が見られたら、すぐに救急車を呼んでください。

こんな症状は脳症かも?

- インフルエンザを発症して1~2日後に突然高熱が出る
- けいれんが10分以上続く
- けいれんを繰り返す
- 呼びかけても反応しない、ぼーっとしている、目がうつろである
- ずっと寝続けている